

5月1日発売の家庭画報創刊700記念号に載せて頂きました。700号続くのは凄い事だと思います。

# 家庭画報

創刊700号記念

6 June 2016 KATEGAHO

## 特別対談

### 黒柳徹子&山中伸弥

今と未来のいのちを挑戦するふたり  
家庭画報と日本の名ブランドがコラボレート  
美しい「一点もの」をあなたに

心に残る「あの味、残したい店」

# 日本の美味遺産

美味なる国の食遺産を訪ねて  
ゆかりの著者に聞いた私の美味遺産

「最高峰の音楽祭」特別ツアー開催参加者募集  
佐渡裕——世界のマエストロと巡る  
華麗なる  
ウィーン音楽紀行

特別2大付録

1 モーツァルト、ベートーヴェン、  
「シュトラウス」世ほかによる名曲を  
全15曲収録  
「祝祭」のベスト・CD  
オペクラシック

2 創刊号から700号まで  
もう一度作りたい、あの味を厳選  
家庭画報の  
「レジェンド・レシピ」20

音楽の殿堂「サントリーホール」  
30年の軌跡  
家庭画報ビューティアンバサダーが贈る  
美を磨く「至福の時間」  
誌上特別対談  
石山寺「勅封秘伝」御開扉  
〈新連載〉  
原田マハ 恋愛小説「移動祝祭日」  
狐野扶実子「ハリ風おもてなしのひと肌」  
中村七之助「中村七之助の真情」

# Living & garden

リビング&ガーデン——住まいに彩りを EDITOR'S REPORT

## ■フランスにおける陶器の概念をアートに変えた、石垣焼の青い陶板

見る人の心に深く染み入る、薫と印象的な青。琉球の海を見て育ち、その地名を美しい焼き物に残したいという作者・金子晴彦氏の思いから「石垣焼」と名づけられた陶器です。この石垣焼の陶板を壁にインсталレーションした作品が、創立150年以上の歴史を誇る、由緒ある団体「フランス国民美術協会」の企画する定例の国立美術館において、2部門で金賞を獲得しました。フランス人を強く魅了した琉球の海のかげら……お部屋に飾って石垣の風を感じてみてはいかがでしょうかでしょう。写真上・味わい深く、えもいわれぬ青色のニュアンスは、見るものを惹きつけてやみません。陶板(大)20×20万円、(小)10×10万円5000円。同下・壁一面に飾られた陶板。配置する数も場所も、飾る人のセンスで自由に楽しめます。

●石垣焼窯元 ☎0980(88)8722  
www.ishigaki-yaki.com/

## ■建築家をもっと身近に! 丸の内に建築家情報空間が誕生

「建築家に設計を依頼したいのだけど、誰にどう頼んだらよいのか、よくわからない」。そんな悩みを解決する情報空間が丸の内にできました。全国2700名の建築家が登録し、日本最大級の建築ネットワークを有する「アーキテクト・スタジオ・ジャパン」が運営する「ASJ TOKYO CELL」です。ここでは、建築家の建てた家の写真や模型を常時展示。それぞれの建築家の作風や特徴を理解しつつ、比較して、気軽に家づくりの情報を入手できます。また毎週末に無料相談会やイベントを開催の予定があり、実際に建築家へ行って相談することも可能。建築やデザイン

の書籍や写真集が揃うライブラリーもあるので、ゆっくり新築やリノベーションに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

●ASJ TOKYO CELL 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビル1階 ☎0120-35-3159 休10時~19時 年中無休(年末年始を除く) 入場無料